

【日時場所】

2019/2/10(日) 総会開催前 センチュリー21

【参加者】(クラブ名のみ記載、順不同 敬省略)

ACA、CCM、MACC、MCCS、TEAM INDY、KURAYOSHI、BDC、TTS、CMSC島根、
ASAHI、Y・C、PAS、CCN、RCH、EB、SPIRIT、

【議題】

1、2018年 活動報告

- ・参加台数は2016年から比較すると減少傾向
2016年 イベント平均 53.5台
2017年 47.9台
2018年 42.8台
- ・参加選手をカウントすると総数は減っていないため、
参加機会が減っていると考えられる
- ・全国的は、増えた地区、減った地区がある
- ・ライセンスホルダーと参加台数の比で比べると全国平均

- ・JAFカップ、西フェス等の結果報告
JAFカップ地区対抗 **1位
西フェス地区対抗 **2位
TTDF **参加29台

- ・その他
FaceBook ダートラ集会所 での情報発信 2019年も活用してください
イベント毎の協力金 合計:¥390,920 繰り越し:¥162

2、2019年の部会体制について

- ・2018年度と同様とする
部会長 : 三好さん
山口支部 : 上田さん
広島支部 : 矢野さん
岡福支部 : 坂本さん
山陰支部 : 松岡さん

3、2019年の取り組みについて

- ・参加台数を増やすため、部会で引き続き議論していく
- ・JAFカップが北海道で開催となり遠いが、遠征費の補助を行いますので参加検討ください
- ・西フェスは恋の浦での開催。ジムカーナとの同時開催となります
- ・TTDFは開催予定

5、その他協議

- ・N2参加台数について
参加台数減少傾向にあり'18年の平均4台/イベント。
2019年も同様の傾向が続けば、JMRC中国の年間表彰もNS1クラスとしてまとめる
- ・全台数21台(3台x7クラス)未満の場合はJMRCポイントの付与について、今年度も引き続き検討する。
- ・参加台数増の取り組みについて
Gazooラリーの参加台数多い(フルグリッドに達する)。この参加者を取り込めないか?
レギュレーション制約の見直しでラリー車で参加できるようになると参加しやすいはず。
意見交換を実施。詳細は省略
今後も、ラリー参加者も参加しやすくするための協議を継続する。
第2回部会までに情報※を集めて協議する。
2020年シーズンに向けての議論とする

※注)ラリー車の改造範囲もクラスによって異なる。参加可能な対象を明確にする事で、不公平感を無くすことができるのではないかな。

以上